

平成 30 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ 語学・大学留学コース 8 月レポート 「はじめましてオハイオ！」

皆様こんにちは。平成 30 年度埼玉・オハイオ州スカラシップ奨学生としてフィンドレー大学に留学しております土屋美月（つちや みつき）と申します。私はこのフィンドレー大学で TESOL（英語以外を母国語とする人々への英語教育）を専攻し、一年間（2 学期間）勉強させていただきます。このような貴重な機会を頂けたこと、本当に感謝いたします。そして皆様に、こちらで経験したたくさんの出来事、アメリカの文化、オハイオ州の魅力などをこの月例レポートを通して発信していけたらと思います。

アメリカに来て早いものでもう 2 週間も経ってしまいました。こちらでの生活は全てが私にとって新鮮で、毎日が発見であふれています。今回はそんな中、大学の新生オリエンテーションと、埼玉県川口市・フィンドレー市の姉妹都市提携、KAKE Program の生徒さんたちと行ったシダーポイント（遊園地）についてお伝えいたします。

オリエンテーション

フィンドレー大学では日本の大学以上に、大学生活の導入としてたくさんのオリエンテーションが行われます。入学セレモニーやキャンパスツアー、新生との交流の場、ボランティア活動など、様々な催しのおかげで徐々に大学に慣れていきました。特に印象に残ったイベントが、アーチセレモニーです。この



大学では入学するためにアーチをくぐり、そしてまた卒業する際にアーチをくぐって大学から飛び立っていくというセレモニーが伝統のようで、そちらに参加しました。大学の先生方やスタッフさん方、地域の方々までもが拍手をしながら花道を作ってくれて、そこを通りアーチをくぐり抜けてフィンドレー大学へ迎え入れられた、という感覚がわき、すごく印象深かったです。

アーチを並んでくぐります

川口市・フィンドレー市姉妹都市提携

8 月 16 日に、埼玉県川口市とオハイオ州フィンドレー市の姉妹都市提携を祝うイベ

ントが行われました。そちらに埼玉県代表として、フィンドレー大学の日本人の先生方と一緒に参加させて頂きました。川口市長様、フィンドレー市長様、そして関係者の皆様や地域の日系企業の方など、お会いすることができないような方々とお話することができ、とても貴重な体験をさせていただきました。



シダーポイント (Cider Point)

シダーポイントという遊園地に、KAKE Program という日本から二週間短期留学に来た生徒さんたちと、日本語を勉強しているフィンドレーの学生さんたちと一緒にに行ってきました。



アメリカで一番怖い絶叫マシンがあると有名なスポットで、日本の人気バラエティ番組でも取り上げられたほどのようです。絶叫マシンは怖かったです。短期留学の学生さんと、現地学生さんと1日通して一緒にアクティビティができて交流を深めることができ、いい時間が過ごせたと思います。

シダーポイント ロープウェイからの景色がきれいでした。

こちらでの生活に徐々に慣れていく感覚はありますが、生活面でもコミュニケーション面でも課題に直面しているなとも感じます。そのような課題を解決していきながら、文化の違いを楽しんで感じられるように、そしてそれをこのレポートでお伝えできるように日々努力していきたいと思っています。